

令和3年度 飯塚圏域障がい者地域自立支援ネットワーク
第1回全体会議次第

日 時 令和3年7月8日（木）
午後3時～
場 所 立岩交流センター2階
第4・5研修室

1 開会

- (1) 事務局からの連絡
- (2) 開会のあいさつ

2 協議

- (1) 自立支援ネットワークの活動報告
 - ① 専門部会（相談支援部会）
 - ② 専門部会（くらし部会）
 - ③ こども部会設置に向けた準備会
 - ④ 就労支援分野
 - ⑤ 地域生活支援拠点等の整備について
- (2) 日中サービス支援型共同生活援助の活動報告
 - ① 障がい福祉サービス事業所ホームファイトⅡ（社会福祉法人ひなの家）
 - ② グループホームあさひの里（社会福祉法人天満会）
 - ③ Hilltop Garden 雅（社会福祉法人嘉穂の里）
- (3) 飯塚市・嘉麻市・桂川町障がい者基幹相談支援センター等運営事業
令和2年度相談支援事業の報告及び令和3年度計画
 - ① 基幹相談支援センター
 - ② 基幹相談支援センターの機能強化事業
- (4) 意見交換

3 閉会

飯塚圏域障がい者地域自立支援ネットワークの
活動について

専門部会（相談支援部会）活動報告書

部会名	相談支援部会（ネットワーク型）
目的	飯塚圏域における相談支援体制において、障がい児者の自立や権利擁護を重視した一般相談・計画相談が実現するよう、相談支援専門員のスキルアップやネットワーク構築を目的に設置するものとする。
構成員領域	指定特定相談支援事業所の相談支援専門員／行政職員／障がい者基幹相談支援センター職員
設置期間	設置期間に定め無し
開催頻度	1回／2ヶ月（第3金曜日 午後）
活動報告	<p>【令和2年度】</p> <p>■第4回相談支援部会 【開催日】 令和2年10月16日（金） 【参加者】 28名（相談支援専門員26名、行政職員2名） 【内 容】 「スクールソーシャルワーカーの役割とは」 講師：基幹相談支援センター 前田氏 ・嘉麻市災害時避難行動要支援者名簿登録者の個別計画策定業務に伴う情報提供について（協力依頼）について</p> <p>■第5回相談支援部会 【開催日】 令和2年12月18日（金） 【参加者】 19名（相談支援専門員19名） 【内 容】 「相談支援部会次年度の体制と業務に関する意見交換」 ・次年度の体制について（企画委員の選出等） ・コロナ禍における相談業務について（意見交換）</p> <p>■第6回相談支援部会 【開催日】 令和3年2月19日（金） 【参加者】 0名 【内 容】 「来年度の活動について」 →コロナウィルス感染拡大防止のため中止</p> <p>【令和3年度】</p> <p>■第1回相談支援部会 【開催日】 令和3年4月16日（金） 【参加者】 42名（相談支援専門員37名、行政職員5名） 【内 容】 「相談支援について（体制や制度について）」 ・行政担当者／新しい相談支援事業所の紹介 ・相談支援部会、協議会に関する説明・質疑応答 ・報酬改定に関する説明 ・特別支援学校卒業後の就労系サービス利用について</p>

	<p>■第2回相談支援部会</p> <p>【開催日】令和3年6月18日（金）</p> <p>【参加者】29名（相談支援専門員29名）</p> <p>【内容】「災害時の相談業務について（意見交換）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2市1町の防災関係資料の確認 ・意見交換
<p>今後の活動 （予定）</p>	<p>■第3回相談支援部会</p> <p>【開催日】8月20日（金）15：00～</p> <p>【参加者】相談支援専門員</p> <p>【内容】事業所意見交換（共同生活援助事業）</p> <p>■第4回相談支援部会</p> <p>【開催日】10月15日（金）15：00～</p> <p>【参加者】相談支援専門員</p> <p>【内容】未定（研修や意見交換）…7月以降の企画会議で検討予定</p> <p>■第5回相談支援部会</p> <p>【開催日】12月17日（金）15：00～</p> <p>【参加者】相談支援専門員</p> <p>【内容】未定（研修や意見交換）…7月以降の企画会議で検討予定</p> <p>■第6回相談支援部会</p> <p>【開催日】令和4年2月18日（金）15：00～</p> <p>【参加者】相談支援専門員</p> <p>【内容】「今年度の振り返りと来年度の取り組みについて」</p>
<p>企画会議</p>	<p>【開催頻度】1回／2ヶ月 （今年度は5・7・9・11月、令和4年1月・3月での開催）</p> <p>【場所】基幹相談支援センター（リモート対応含む）</p> <p>【参加者】企画委員（5名）＋基幹センター（2名）</p> <p>【内容】翌月以降の部会において、どのような形で実施するか検討や圏域内の相談支援体制における意見交換等</p>

飯塚圏域障がい者自立支援ネットワークにおける

専門部会の設置について（提案）

部会名	くらし部会（ネットワーク型）	
目的	精神障害者が、地域の一員として、安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、医療、障害福祉・介護、住まい、社会参加（就労）、地域の助け合い、教育が包括的に確保された地域包括ケアシステムの構築を目的とする。	
構成員領域	当事者関係団体／医療機関（精神保健福祉士）／保健所（保健師）／障がい者福祉担当職員／障がい者基幹相談支援センター職員	
取組内容	『(1) 医療について (2) 福祉サービスについて (3) 住まいについて (4) 社会参加（就労）について (5) 地域の助け合いについて (6) 教育（普及・啓発）について (7) 緊急時について (8) 家族関係について (9) 経済的なことについて (10) 地域生活について (11) 移動・交通について (12) その他』についてのアンケート調査にて得られた、当事者、当事者家族、医療機関、行政機関等の意見をもとに、意見交換を行っていく。	
設置期間	設置期間に定め無し	
開催頻度	1回／3月（第2火曜日 14時半～）	
令和3年度 年間スケジュール（案）	4月	準備会開催
	5月	第1回くらし部会 ※新型コロナウイルス感染拡大により延期
	8月	第1回くらし部会 部会運営について アンケートに関する意見交換会
	11月	第2回くらし部会 アンケートに関する意見交換会
	2月	第3回くらし部会 アンケートに関する意見交換会 次年度の取組の検討

くらし部会構成員名簿

9機関（順不同 敬称略）

機関・団体名	職種	氏名
筑豊アディクションネットワーク	代表	山方 国和
嘉飯山地区精神障害者家族会 いずみ会	会長	森嶋 光恵
株式会社 麻生 飯塚病院	精神保健福祉士	梅本 亨二
医療法人社団豊永会 飯塚記念病院	精神保健福祉士	窪田 裕美
医療法人 飯塚恵仁会 たていわ病院	精神保健福祉士	松藤 智恵子
医療法人社団筑山会 松岡病院	精神保健福祉士	見増 将太
医療法人社団豊永会 心のクリニック・飯塚	精神保健福祉士	川口 直宏
医療法人 陽山会 丸野クリニック	精神保健福祉士	福田 大輔
嘉穂鞍手保健福祉環境事務所 健康増進課精神保健係	保健師	高川 茉里奈

飯塚圏域障がい者自立支援ネットワーク くらし部会事務局

嘉麻市社会福祉課障がい者福祉係	係長	中野 聡子
飯塚市・嘉麻市・桂川町 障がい者基幹相談支援センター	センター長	藤嶋 勇治
	相談支援専門員	小出 悦子
	相談員	藤 明音

こども部会設置に向けた準備会（コアメンバー会議）

経緯

平成29年11月に設置した在宅医療ケア部会は課題解決型であり、今後は広く障がい児全般を対象とした部会を発足し、医療的ケア児に関する取り組みはその一部門とすることを確認している。

令和2年度、医療機関、障がい児通所事業所、障がい者基幹相談支援センター、行政担当者が参加し、こども部会発足に向けて準備会を計4回実施する。

協議内容の要点

① 現在の地域の状況を確認

- ・ 児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所が急増している
- ・ 新規事業所が多く、各事業所の取り組みや支援内容が様々
- ・ 保健、医療、母子、障がい、教育つながる仕組みがない
- ・ 医療的ケア児の教育とのつながり
- ・ 医療的ケア児の数の把握ができていない状況

取り組む内容についての意見（案）

- ・ 事業所の整理票を作成（療育の内容、専門職の配置など）
- ・ 地域課題についてアンケートの実施を検討
- ・ 保健、医療、障がい福祉、保育、教育の連携を図るための協議する場を模索
- ・ 支援者スキルアップのために意見交換や勉強会を実施

② 部会構成メンバー（案）

- ・ 障がい児通所事業所（児童発達支援、放課後等デイサービス）
- ・ 医療機関
- ・ 訪問看護事業所
- ・ 保育所・幼稚園
- ・ 行政（障がい福祉課、保健センター、子育て支援、教育など）

現在の取り組みと今後の予定

- ・ 2市1町の児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所に訪問し、こども部会への協力依頼を行う。

→現在、3法人に見学訪問実施。緊急事態宣言にて中断したが解除後再開予定。

→事業所訪問終了後、コアメンバー会議を開催し部会設立を目指す。

就労支援分野活動報告

就労ネットワーク活動報告

開催日：場所 毎月第4火曜

場 所：セルフちくほ

参加者：就労移行事業所・就業・生活支援センター・基幹センター・行政

(※令和2年10月～令和3年1月 コロナ感染拡大に伴い一時中断。)

オンラインにて再開

令和3年2月 新規事業所のご紹介

令和3年3月 意見交換会の内容について意見交換

令和3年4月 報酬改定について

令和3年5月 ケース会議等

令和3年6月 5月意見交換会振り返り・今後の取り組みの提案

飯塚圏域就労系福祉サービス事業所の全体的な取り組み

就労系福祉サービス事業所関係機関合同意見交換会（オンライン）

開催日：令和3年5月14日（金）

目 的：就労系福祉サービス事業所において、事業所で行う作業の選定や一般企業を目指す支援を行う際に企業との連携や、コロナ禍における作業に関する課題について事業所同士で意見交換を実施。

対象者：就労継続支援A型事業所 就労継続支援B型事業所 就労移行支援事業所
就業・生活支援センター 行政担当 基幹センター

内 容：①全体報告 「就労継続支援B型事業所」における就労支援の取り組み。

NPO boisoan（嘉麻市） 中村 崇修 氏

②グループワーク（各グループ単位でテーマを設定）

テーマ1・・・「作業の選び方」「企業との連携」

参加者：就労継続支援A型事業所・B型事業所職員・行政・基幹センター

テーマ2・・・「実習先の確保・開拓」「就労プログラムの内容」

参加者：就労支援移行事業所・就業・生活支援センター職員・行政・基幹センター

参加者アンケート（一部抜粋）

- 1) 「コロナ禍での作業受託の難しさ、しかし作業を確保しないといけない現実」この課題についてみんなで向き合っていく必要性を強く感じました。
- 2) 障がい者への理解を深めるため、企業側と意見交換の場を提供して欲しい。
- 3) 近隣の事業所の取り組みを知ることが出来て良かった。今後連携することで相互に活気ある施設づくりが出来ればと思いました。

今後の予定

「卒業後の進路支援に向けて」(オンライン)

開催日：開催日 7月下旬か8月上旬

目的：卒業後の就職先・就労先を決めていく中で、制度の話を聴く場を設けることで卒業後の選択肢の幅を広げられることで、安心してこの地域で過ごしていただくため。

参加者：特別支援学校高等部・高等学校教職員担当者・事業所関係（就労移行事業所・就労継続支援A型事業所・就労継続支援B型事業所）基幹センター・行政担当

内容：福祉サービス・就労アセスメント説明
参加事業所ご紹介
グループワーク

障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、**居住支援のための機能（相談、緊急時の受け入れ・対応、体験の機会・場、専門的人材の確保・養成、地域の体制づくり）**を、地域の実情に応じた創意工夫により整備し、障害者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築。

●地域生活支援拠点等の整備手法（イメージ）

※あくまで参考例であり、これにとらわれず地域の実情に応じた整備を行うものとする。

各地域のニーズ、既存のサービスの整備状況など各地域の個別の状況に応じ、協議会等を活用して検討。

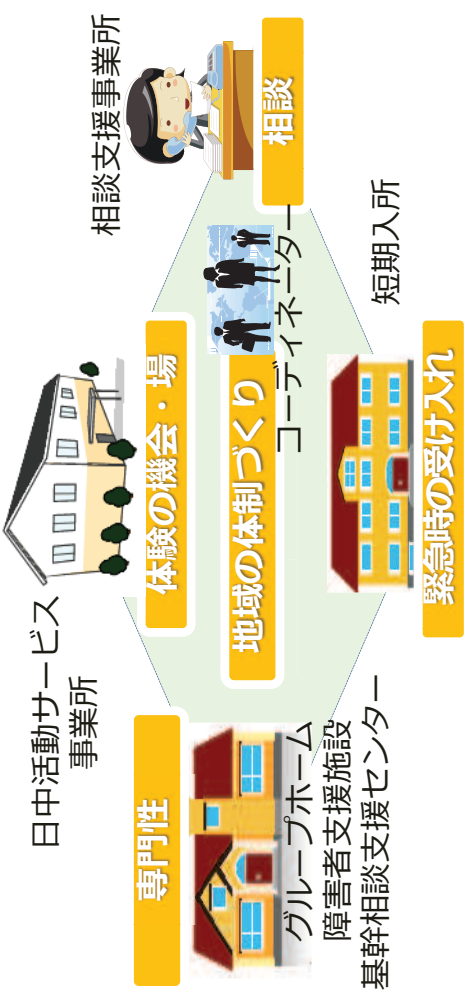
市町村（圏域）

- ① 支援者の協力体制の確保・連携
- ② 拠点等における課題等の把握・活用
- ③ 必要な機能の実施状況の把握

多機能拠点整備型



面的整備型



バックアップ

都道府県

- ・ 整備、運営に関する研修会等の開催
- ・ 管内市町村の好事例（優良事例）の紹介
- ・ 現状や課題等を把握、共有

飯塚市・嘉麻市・桂川町

障がい者基幹相談支援センター等運営事業

令和2年度相談支援事業の報告及び令和3年度計画

- ① 基幹相談支援センター
- ② 基幹相談支援センターの機能強化事業

飯塚市・嘉麻市・桂川町
障がい者基幹相談支援センター等運営事業
令和2年度事業報告・令和3年度実施計画

令和3年7月8日
飯塚圏域障がい者地域自立支援ネットワーク
第1回全体会議

●令和2年度事業報告

障がい者基幹相談支援センターの業務内容と人員体制

(1) 主な業務内容

地域の相談支援の拠点として総合的な相談業務及び成年後見制度利用支援事業を実施し、地域の実情に応じて以下の業務を行う。

①総合的・専門的な相談支援の実施

障がいの種別や各種ニーズに対応する

- ・総合的な相談支援の実施
- ・専門的な相談支援の実施

③地域移行・地域定着の促進の取組

- ・入所施設や精神科病院への働きかけ
- ・地域の体制整備に係る調整

②地域の相談支援体制の強化の取組

- ・相談支援事業者への専門的指導、助言
- ・相談支援事業者への人材育成
- ・相談機関との連携強化の取組

④権利擁護・虐待の防止

- ・成年後見制度利用支援事業
- ・虐待防止（兼・虐待防止センター）

(2) 人員体制

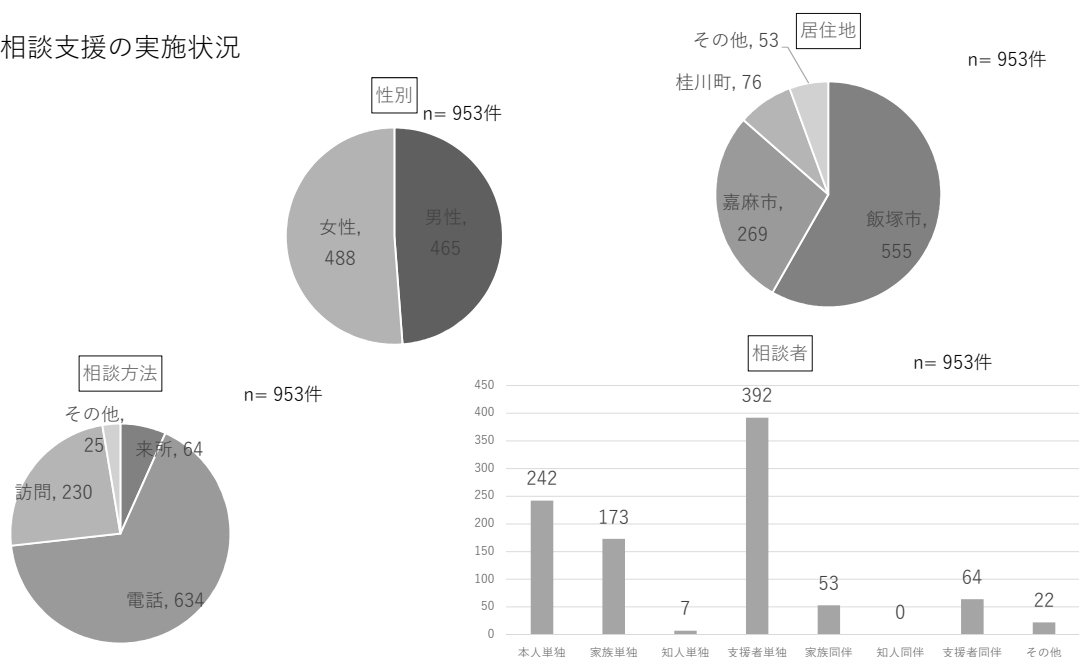
- ・常駐の専門的職員を配置
- ・業務責任者として、常勤職員のうち1名をセンター長とする
- ・常勤職員は概ね週40時間（月20日）の勤務
- ・非常勤職員は週25時間以上（月13日程度）の勤務
- ・非常勤職員の指定相談支援事業所または地域活動支援センター事業所との兼務は業務に支障がない範囲で可能とする
- ・専門的職員は相談支援専門員、社会福祉士、精神保健福祉士または保健師等の資格を有し、障がい者等の相談支援業務に関し5年以上の実務経験を有する者を配置する

職員配置状況	
常勤	6名
非常勤	2名

専門的資格の取得状況（重複）			
相談支援専門員	7名	社会福祉士	5名
精神保健福祉士	6名	作業療法士	0名
介護支援専門員	1名	保育士	1名
介護福祉士	3名		

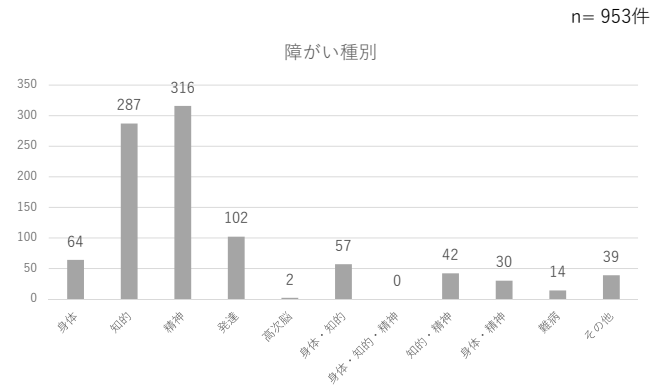
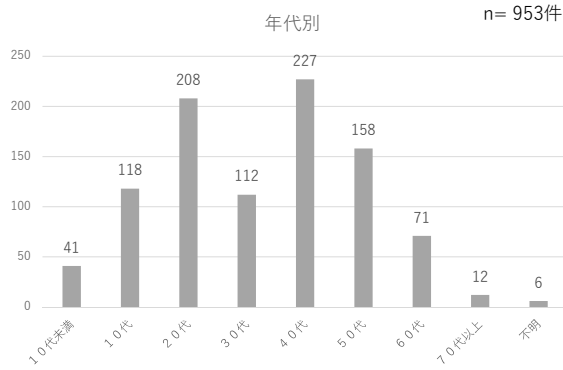
令和2年度実績

1 相談支援の実施状況



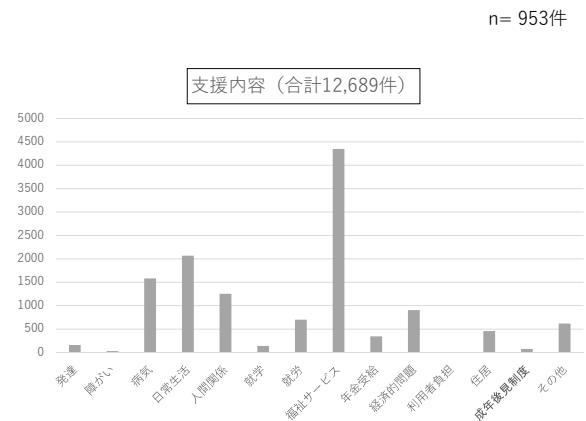
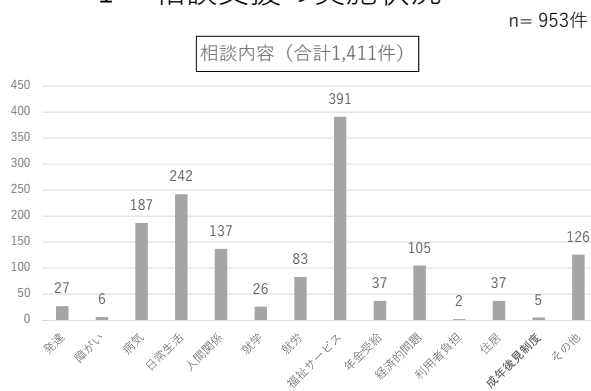
令和2年度実績

1 相談支援の実施状況



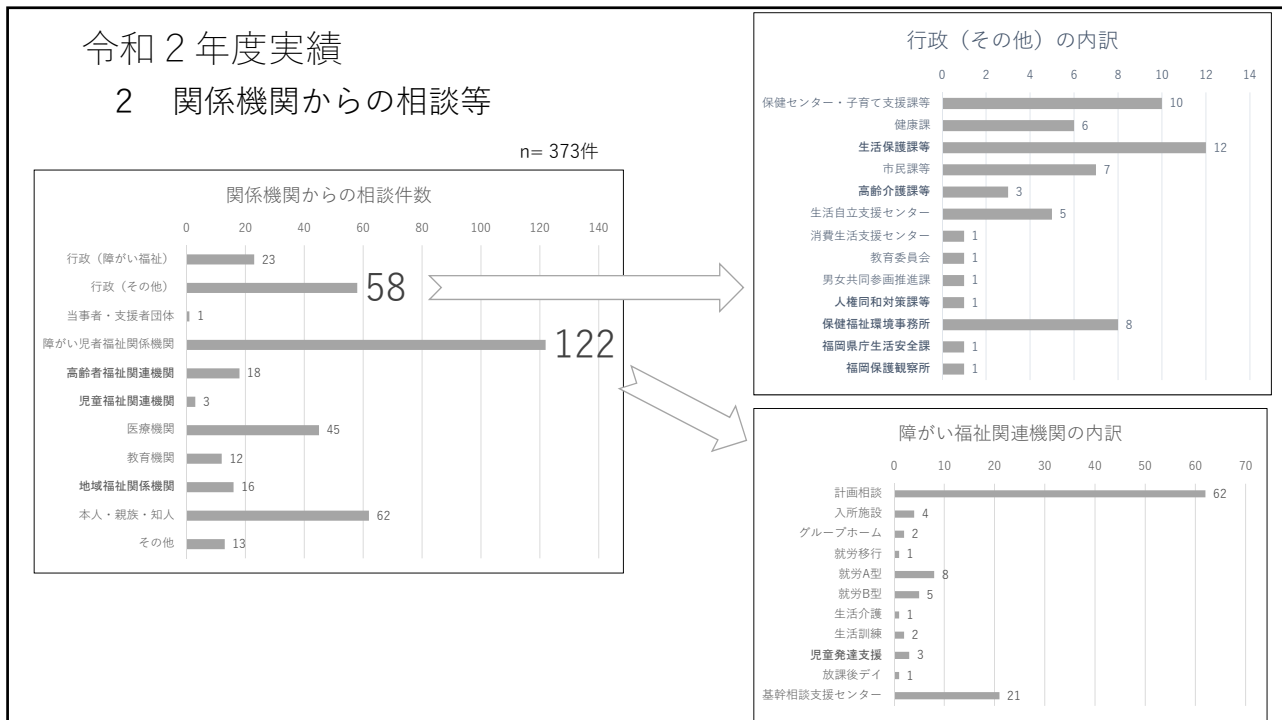
令和2年度実績

1 相談支援の実施状況



令和2年度実績

2 関係機関からの相談等



令和2年度実績

3 基幹相談支援センター会議 月2回開催

4 飯塚圏域自立支援ネットワークの活動内容

会議名		開催状況	特記事項	
全体会議		年1～2回	9月29日	
運営事務局会議		毎月第2水曜日	※10月～第3水曜日に変更	
専門 部会	相談支援 部会	部会	偶数月第3金曜日	6月、10月、12月、
		企画会議	奇数月第3金曜日	7月、9月、11月、3月
	こども 部会	準備会	適時	7月、8月、9月、2月
		施設見学	適時	3月①まどか園②こどもの森③YOOU
くらし 部会	準備会	毎月第2火曜日	※8月より開催	

令和2年度実績

5 その他の活動

分野		開催状況	内容
就労支援	就労ネットワーク会議	2月より毎月1回オンライン開催	就労移行事業所のネットワーク作り
	就労系事業所等合同意見交換会(準備)	2月、3月	就労系事業所と企業のマッチングについて
精神保健	精神保健福祉関係者会議	毎月1回	精神保健福祉分野の連携と地域課題について
相談支援	初任者研修現場実習	1月、3月	講義と演習
拠点整備	地域生活拠点等整備(協議)	毎月1回	枠組み、予算、体制作りについて
機能強化	発達障がい児等相談支援機能強化事業	随時	こども発達療育センター相談部門トントンの連携

令和2年度実績

6 地域啓発・講師派遣など

9月	ウエルビーイング障がい者虐待防止法人研修
10月	福岡県障がい者虐待防止・権利擁護指導者養成研修(実行委員・講師) 福岡県障がい者相談支援従事者現任者研修(実行委員・講師)
11月	嘉穂特別支援学校PTA研修会 福岡県障がい者相談支援従事者現任者研修(実行委員・講師)
1月	福岡県障がい者相談支援従事者現任者研修(実行委員・講師)
2月	いずみ会定例会(講師)
	5ブロック地域包括ケアシステム推進協議会

令和2年度実績

7 研修・委員会活動等の参加実績（1）

6月	ネットワークふくおか総会
7月	福岡県若者自立支援機関連携会議 ・ 桂川町社会福祉協議会広報委員会 嘉麻市発達支援連携協議会
8月	福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所：精神保健福祉部会 嘉麻市障がい者施策推進協議会 ・ 飯塚市中心身障害児（生）就学指導委員会
9月	福岡県障がい者相談支援従事者初任者研修 ・ 桂川町地域福祉施策推進協議会 飯塚市中心身障害児（生）就学指導委員会 ・ 福岡県サービス管理責任者更新研修
10月	福岡県障がい者相談支援従事者初任者研修 ・ 桂川町地域福祉施策推進協議会 福岡県障がい者虐待防止・権利擁護指導者養成研修 福岡県障がい者相談支援従事者現任者研修 ・ 嘉麻市障がい者施策推進協議会
11月	福岡県ひきこもり支援者研修会及び地域ネットワーク会議 ・ 桂川町地域福祉施策推進協議会 福岡県障がい者相談支援従事者現任者研修

7 研修・委員会活動等の参加実績（2）

12月	嘉麻市障がい者施策推進協議会 ・ 飯塚市中心身障害児（生）就学指導委員会 こぐま学園見学
1月	桂川町地域福祉施策推進協議会 ・ 福岡県障がい者相談支援従事者初任者研修 筑豊地域小児在宅医療定例研修会「潁田病院における小児在宅医療の取り組み」 福岡県障がい者相談支援従事者現任者研修 ・ 飯塚市中心身障害児（生）就学指導委員会 ネットワークふくおか研修会
2月	若年性認知症の方の支援に関する勉強会 ・ 嘉麻市障がい者施策推進協議会 知的障がい施設協議会研修会
3月	福岡県障がい者自立支援協議会担当者会議 ・ ネットワークふくおか報酬改定研修会 桂川町社会福祉協議会評議委員会

●令和3年度事業計画

飯塚市・嘉麻市・桂川町 障がい者基幹相談支援センター

令和3年度 事業実施計画（案）

- 1 所在地 飯塚市役所穂波庁舎3階 ※8月から4階に移動予定
- 2 開所時間 8:30～17:15 ※土日、祝日、年末年始は休み
- 3 利用者負担 無料
- 4 職員体制 8名

（主な業務内容）

地域の相談支援の拠点として総合的な相談業務及び成年後見制度利用支援事業を実施し、地域の実情に応じて以下の業務を行う。

①総合的・専門的な相談支援の実施

- 障がいの種別や各種ニーズに対応する
- ・総合的な相談支援の実施
 - ・専門的な相談支援の実施

③地域移行・地域定着の促進の取組

- ・入所施設や精神科病院への働きかけ
- ・地域の体制整備に係る調整

②地域の相談支援体制の強化の取組

- ・相談支援事業者への専門的指導、助言
- ・相談支援事業者への人材育成
- ・相談機関との連携強化の取組

④権利擁護・虐待の防止

- ・成年後見制度利用支援事業
- ・虐待防止（兼・虐待防止センター）

年間スケジュール

	ネットワークの活動	研修会	企画
4月	相談支援部会		
5月	くらし部会（延期）	拠点整備事業等の勉強会	就労系事業所意見交換会
6月	相談支援部会		
7月	全体会議		
8月	相談支援部会	スタートアップ研修①	
	くらし部会		
9月	こども部会		
10月	相談支援部会	スタートアップ研修②	
11月	こども部会	ネットワークふくおか筑豊ブロック研修	権利擁護研修
	くらし部会		
12月	相談支援部会	スタートアップ研修③	
1月	こども部会	スキルアップ研修	
2月	相談支援部会		
	くらし部会	スタートアップ研修④	
	全体会議		
3月	こども部会		障がい者理解啓発講演会

- その他の活動
- ・就労分野 就労ネットワーク（月1回） ・地域生活支援拠点等整備事業 体制作り打ち合わせ
 - ・精神保健分野 精神保健福祉関係者会議（3月2回） ・相談支援 ネットワークふくおか（年1～2回）
 - ・広報（基幹タイムス発行・ホームページ）

飯塚市・嘉麻市・桂川町 障がい者基幹相談支援センター

令和3年度 事業実施計画（案）

- 1 所在地 飯塚市役所穂波庁舎3階 ※9月中旬から4階に移動予定
- 2 開所時間 8:30～17:15 ※土日、祝日、年末年始は休み
- 3 利用者負担 無料
- 4 職員体制 8名

（主な業務内容）

地域の相談支援の拠点として総合的な相談業務及び成年後見制度利用支援事業を実施し、地域の実情に応じて以下の業務を行う。

①総合的・専門的な相談支援の実施

障がいの種別や各種ニーズに対応する

- ・総合的な相談支援の実施
- ・専門的な相談支援の実施

③地域移行・地域定着の促進の取組

- ・入所施設や精神科病院への働きかけ
- ・地域の体制整備に係る調整

②地域の相談支援体制の強化の取組

- ・相談支援事業者への専門的指導、助言
- ・相談支援事業者への人材育成
- ・相談機関との連携強化の取組

④権利擁護・虐待の防止

- ・成年後見制度利用支援事業
- ・虐待防止（兼・虐待防止センター）

※ 発達障がい児等相談支援機能強化事業については

「こども発達療育センター事業計画（案）（相談部門トントン）」参照

年間スケジュール

	ネットワークの活動	研修会	企画
4月	相談支援部会		
5月	くらし部会（延期）	拠点整備事業等の勉強会	就労系事業所意見交換会
6月	相談支援部会		
7月	全体会議		
8月	相談支援部会	スタートアップ研修①	
	くらし部会		
9月	こども部会		
10月	相談支援部会	スタートアップ研修②	
11月	こども部会	ネットワークふくおか筑豊ブロック研修	権利擁護研修
	くらし部会		
12月	相談支援部会	スタートアップ研修③	
1月	こども部会	スキルアップ研修	
2月	相談支援部会		
	くらし部会	スタートアップ研修④	
	全体会議		
3月	こども部会		障がい者理解啓発講演会

その他の活動

- ・ 就労分野 就労ネットワーク（月1回） ・ 地域生活支援拠点等整備事業 体制作り打ち合わせ
- ・ 精神保健分野 精神保健福祉関係者会議（3月2回） ・ 相談支援 ネットワークふくおか（年1～2回）
- ・ 広報（基幹タイムス発行・ホームページ）

相談支援機能強化事業について

令和2年4月～9月まで

特定非営利活動法人ピース

**児童発達支援センター
ミーティアス**

生活相談センター フォスク



令和3年1月～

特定非営利活動法人嘉飯山ネット BASARA

こども発達療育センター

テコテコ

【相談部門】

トントン

発達障がい児等

相談支援機能強化事業

フォスク 事業実施報告(令和2年4月～9月)

1. 登録者 内訳(人数)

令和2年		4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
性別	男性	5	7	5	5	4	6	32
	女性	3	5	4	0	2	0	14
障がいの種別	身体障がい	0	0	1	0	0	0	1
	知的障がい	4	4	1	3	3	3	18
	精神障がい	0	0	0	0	0	0	0
	発達障がい	1	3	1	1	1	2	9
	高次脳機能障がい	0	0	0	0	0	0	0
	身体・知的	0	0	2	0	0	0	2
	身体・知的・精神	0	0	0	0	0	0	0
	知的・精神	0	0	0	0	0	0	0
	身体・精神	0	0	0	0	0	0	0
	その他	3	5	4	1	2	1	16

フォスク 事業実施報告(令和2年4月～9月)

2. 支援内容 内訳(回数)

令和2年		4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
実施内容(「こどもの評価パス」に基づく)		実施件数						
①	基本情報、相談内容の確認 基本情報、相談内容の報告			2				2
②	行動観察							
③	事前ケース会議	6	10	3	3	4	2	28
④	個別評価							
⑤	集団評価							
⑥	総合評価報告							
⑦	保護者面談							
⑧	行動評価							
⑨	総合ケース会議							
⑩	医師への紹介	2	2	2	2	2	4	14
⑬	他機関への紹介			2				2

こども発達療育センター テコテコ
相談部門 トントン
発達障がい児等相談支援機能強化事業

◇令和2年度 事業実施報告

◇令和3年度 事業実施計画

令和2年度
トントン
事業実施報告

こども発達療育センター テコテコ 事業内容・人員体制

【相談部門】←

トントン←

発達障がい児等←
相談支援機能強化事業←

令和3年1月 開業
相談事業の実施

【療育部門】←

ソバニ←

児童発達支援事業←
放課後等デイサービス事業←
生活介護事業←

主に重症心身障
がい児・者が対象←

ココ・カラ←

児童発達支援センター←
放課後等デイサービス事業←

令和3年4月 開業
に向けての準備

一職種一

児童発達支援管理責任者 (常勤) 2名	*重複、兼務あり	嘱託医 (非常勤) 1名
保育士 (常勤) 3名 (非常勤) 1名		心理士 (非常勤) 2名
看護師 (常勤) 2名 (非常勤) 1名		介護職員 (非常勤) 1名
作業療法士 (常勤) 2名		理学療法士 (常勤) 1名
精神保健福祉士 (常勤) 1名 (非常勤) 2名		社会福祉士 (非常勤) 2名

トントン 発達障がい児等相談支援機能強化事業

トントンは、お子さんのことで、『あれ?』、『どうして?』、『何か気になる』... という方のご相談に応じます。
家庭や園・学校などで、生活のしづらさ、お友だちとのやりとりがうまくいかない など、何か気になることや心配なことがあるお子さんが対象です。

トントンの 発達障がい児等相談支援機能強化事業

－対応の流れ－

- ①ご相談の内容や経緯などについて把握する
- ②対応について検討し、相談者へ提案・説明する
- ③より詳しい状況を把握するための面談やお子さんの観察、各種検査、嘱託医による診察等を行う
- ④その後の対応について検討し、相談者へさらなる提案・説明する
- ⑤相談者のご要望等を確認しながら、保健医療・教育・福祉等、関係機関と連携し、対応を進める

トントンの対応の流れ

ニーズの発生：発達障がいのある人やその家族、関係者からの相談ニーズ

トントンの相談

相談主訴の概要を確認
基礎情報の収集

ケースミーティング①

- ・対応計画：概要の想定・確認
- ・インテーク面談の打ち合せ

インテーク面談

ケースミーティング①に基づく対応

相談主訴の確認、基礎情報の収集、相談者・本人のニーズや関係機関の有無の把握や情報収集についての了承を得る など
(基礎情報の例)
家族背景、生育歴(専門機関等とのやりとり含む)、(障がい)特性、生活状況(ADL、生活スケジュール、所属先での様子等) など

ケースミーティング②

- ・対応計画：案の策定
- ・対応計画面談の打ち合せ
(嘱託医への相談・受診についての提案含む)

対応計画面談

ケースミーティング②に基づく対応

対応計画の提案・説明
相談者・本人の了承・意向確認 など

トントン 対応の流れ

囑託医 受診

ケースミーティング③

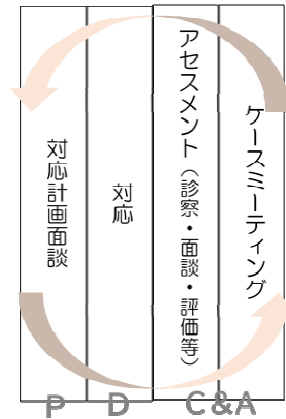
- ・対応計画：案の策定
- ・対応計画面談の打ち合せ
(各種検査、行動観察の実施、および、他関係機関との連携についての提案含む)

対応計画面談

ケースミーティング③に基づく対応
対応計画の提案・説明
相談者・本人の了承・意向確認 など

各種検査
行動観察

継続的な



トントン 事業実施報告

1. 登録者 内訳 (人数)

令和3年		1月	2月	3月	計	
		1月	2月	3月	計	
	新規	5	2	11	18	
性別	男性	3	1	6	10	18
	女性	2	1	5	8	
年齢	1歳未満				0	18
	1歳			1	1	
	2歳				0	
	3歳				0	
	4～6歳	2	1	6	9	
	1～2年生	1			1	
	3～4年生			1	1	
	5～6年生	1		2	3	
	中学生	1	1	1	3	
	高校生				0	

トントン 事業実施報告

1. 登録者 内訳 (人数)

令和3年		1月	2月	3月	計	
新規		5	2	11	18	
居住地	飯塚市	4		5	9	
	嘉麻市		2	4	6	
	桂川町	1			1	
	その他*			2	2	
相談方法	電話	5	2	10	17	
	来所			1	1	
相談者	当事者	母	1		1	
		相談員	2		3	5
	支援者	相談員(基幹)			3	3
		保健師		1	1	2
		SW(病院)	2		3	5
		SW(学校)		1		1
		医師(病院)			1	1

* 田川市1、不明1

トントン 事業実施報告

2. 支援内容 内訳 (回数)

令和3年		1月	2月	3月	計
基本情報の把握		5	2	11	18
ケースミーティング①		6	6	25	37
インテーク面談			1		1
行動観察			1		1
ケースミーティング②			1	1	2
嘱託医診察				1	1
各種検査・評価					0
ケースミーティング③					0
他基幹への紹介・連携					0
福祉サービス利用 への案内・連携	テコテコ外		2	5	7
	テコテコ	1		1	2
その他 書類作成等	診療情報提供書				0
	資料作成				0
	見学対応				0
合計		12	13	44	69

トントン 事業実施報告

3. その他

(行政との連携)

- ・嘉麻市 子育て支援課・発達相談係への挨拶、話し合い 令和3年2月4日
- ・桂川町 子育て支援課・子育て支援係への挨拶、話し合い 令和3年2月18日
- ・飯塚市 社会障がい福祉課、および、健康福祉課・母子保健係との話し合い 令和3年1月14日、2月10日

(医療との連携)

- ・飯塚病院出向 週1回

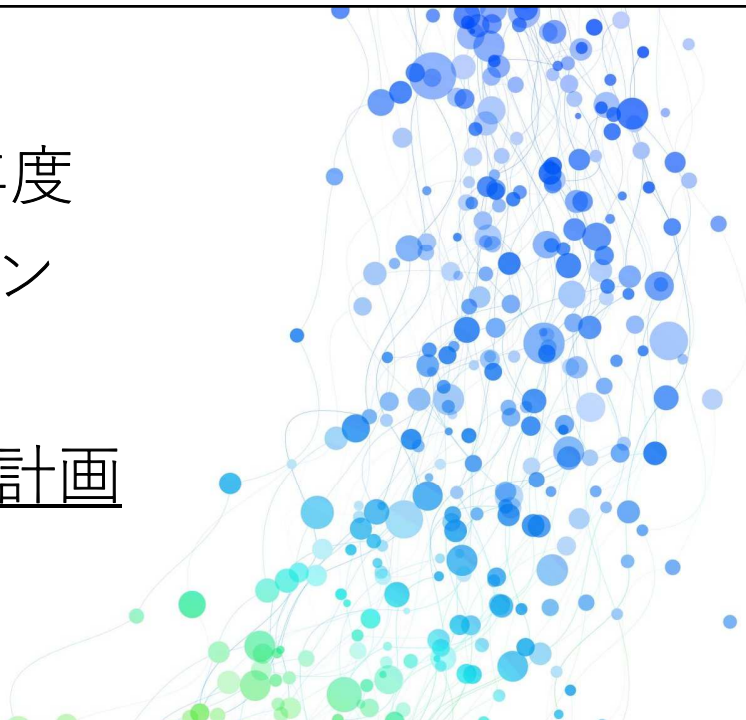
(研修会への参加)

- ・筑豊地域小児在宅医療定例研修会（第322回筑豊小児科医会勉強会） 令和3年1月15日

令和3年度

トントン

事業実施計画



トントン 事業理念

- ◇相談者、一人ひとりの暮らし、人生を大切する
- ◇相談者とそのご家族の毎日の生活が、より健やかで、より安心したものとなるよう心がけ支援する
- ◇相談者とそのご家族にかかわる保健センターや保育所・幼稚園、学校、医療機関、更に障がい児支援に関わる事業者等との連携を大切にする
- ◇専門医（小児神経科医）の診断・治療との機能的・効果的連携を果たす

トントン 事業内容

引き続き、相談者に関する以下を行う

1. 基本情報の把握
2. ケースミーティング① 対応計画、インテーク面談打ち合せ
3. インテーク面談
4. ケースミーティング② 対応計画、対応計画面談打ち合せ
5. 対応計画面談
6. 嘱託医診察
7. ケースミーティング③ 対応計画、検査・行動観察等実施、紹介・連携機関打ち合せ
8. 各種検査、行動観察
9. その他
他機関・他事業所への紹介・連携、福祉サービス利用等 各種手続きの案内、診療情報提供書等 各種書類の作成 など